

2019年度 スタディグループ

データ分析を活用したサービスの創出 成果報告会

NECソリューションイノベータ株式会社
IoTソリューション事業部

Orchestrating a brighter world

未来に向かい、人が生きる、豊かに生きるために欠かせないもの。
それは「安全」「安心」「効率」「公平」という価値が実現された社会です。

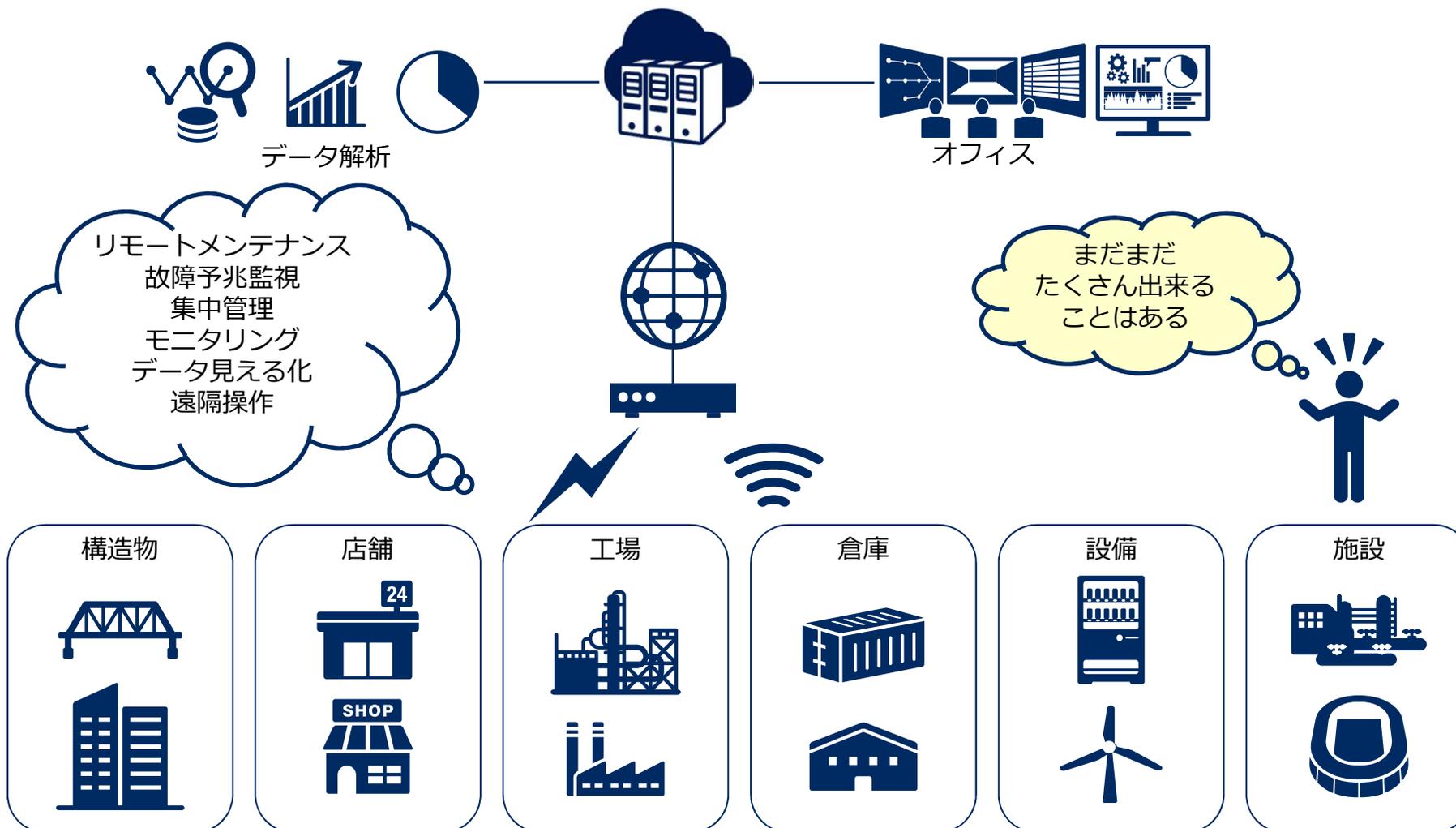
NECは、ネットワーク技術とコンピューティング技術をあわせ持つ
類のないインテグレーターとしてリーダーシップを発揮し、
卓越した技術とさまざまな知見やアイデアを融合することで、
世界の国々や地域の人々と協奏しながら、
明るく希望に満ちた暮らしと社会を実現し、未来につなげていきます。

スタディグループ活動実績

1. 活動目的
2. 活動内容
3. 実証実験結果

1. 活動目的

データ分析を活用したサービスの創出



2. 活動内容

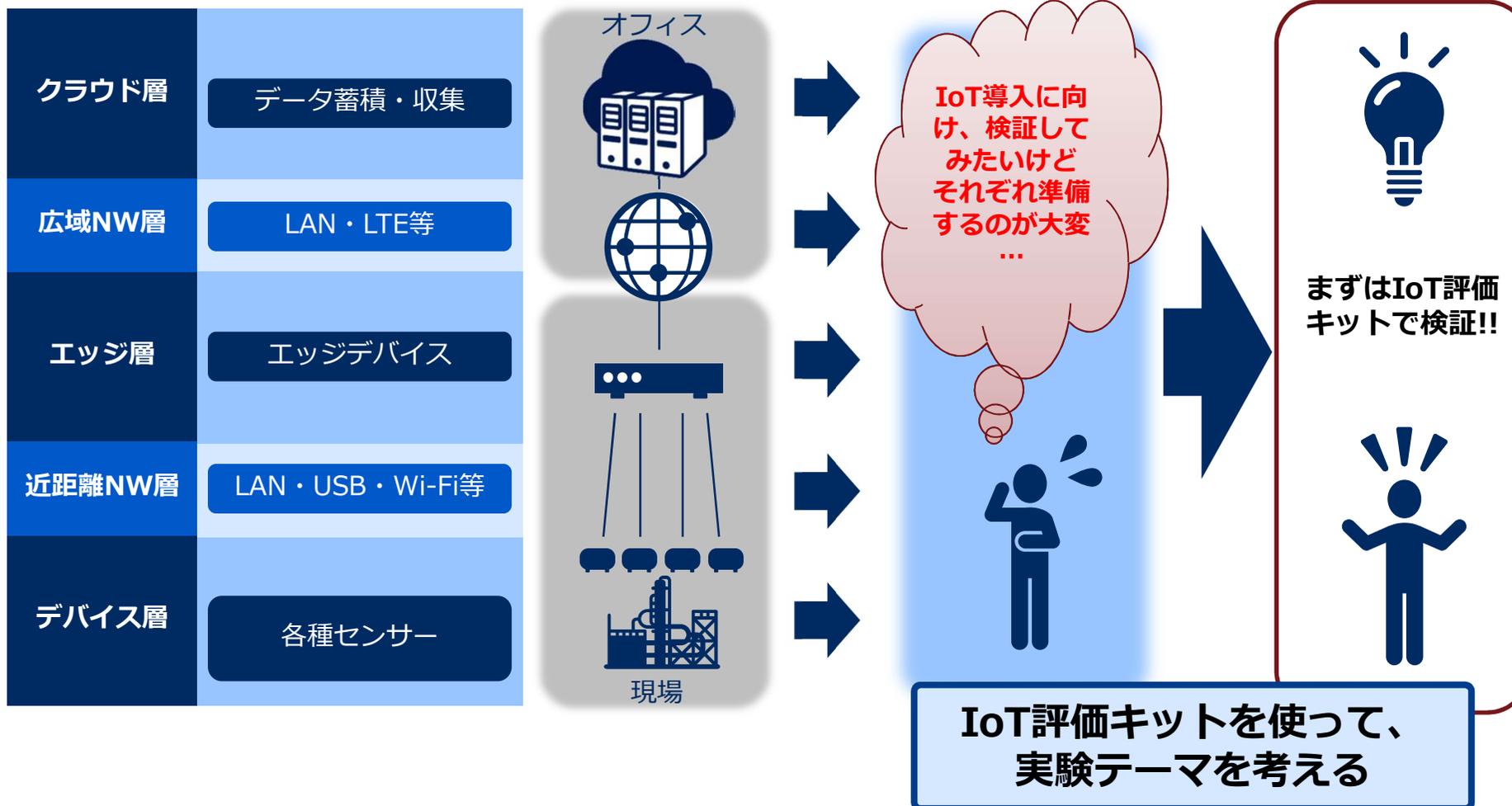
スタディグループの活動実績

- **説明会 10月30日（水）**
参加者とテーマ確定
- **第1回 11月27日（水）**
実証実験の実施に向けた実務の説明
- **第2回 12月4日（水）**
実証実験と同時に結果分析

12月上旬～1月下旬
実証実験、研究結果まとめ（船倉さん）

- **成果報告 2月21日（金）**
実証実験の成果報告

IoT導入について



第1回 実証実験の実施に向けた実務の説明

実証実験テーマの確定

一人暮らしの高齢者向け「見守り」センサー

過疎地域の地方自治体は、一人暮らしの高齢者に安心・安全を提供するため、住民にセンサーを配布し、部屋の温度・湿度などを適切に管理したいと思っている。

→センサーを低コストで提供するため、部屋のどこに設置し何個必要かを調査するための基礎データを採取し分析する。

また一人暮らしのため、温度の変化で部屋に人がいる・いないを推測できるかについても分析する。

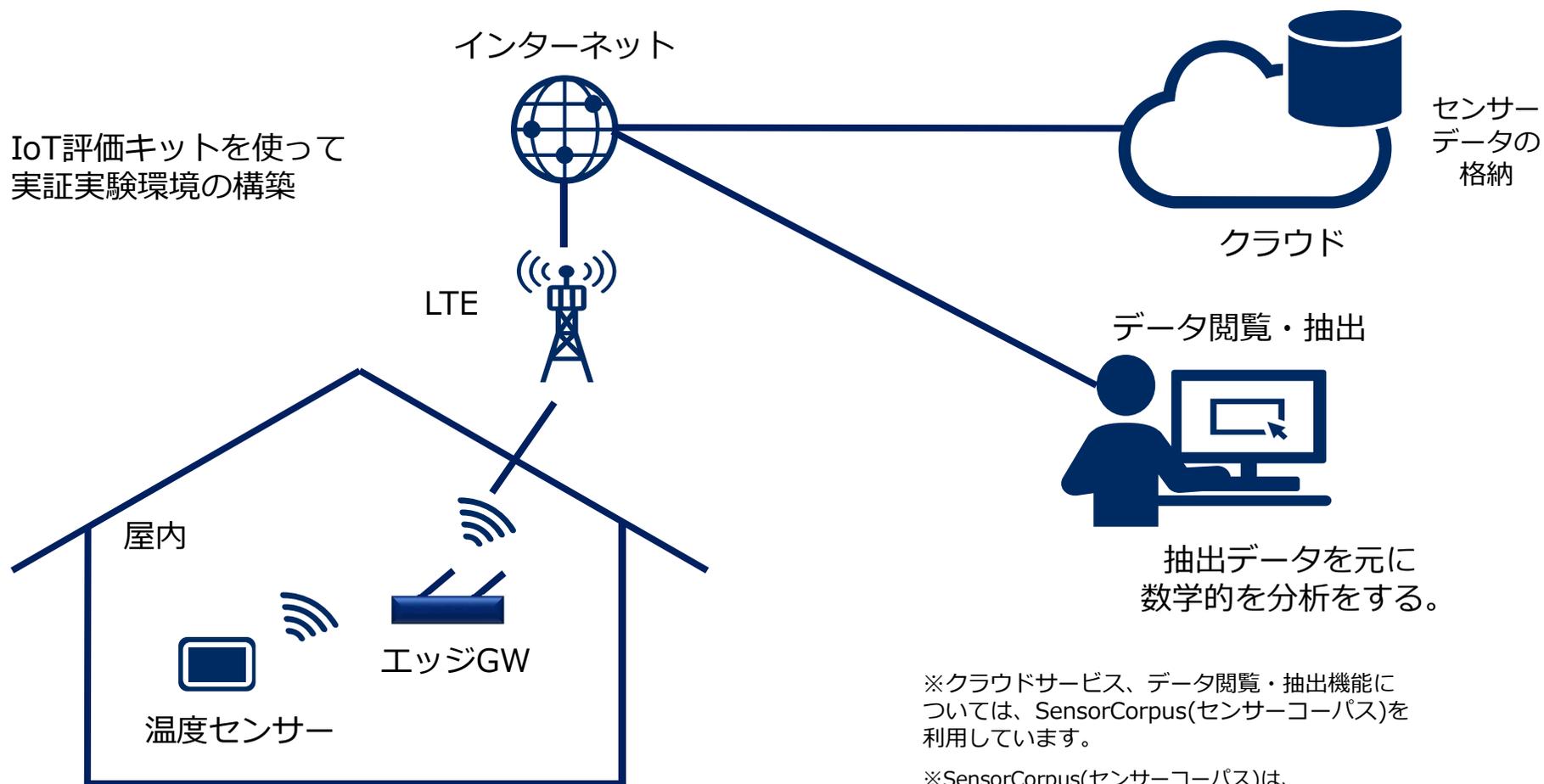
災害時の避難施設の冷暖房設備の設置ニーズ事前把握

台風・地震などの災害時は、学校の体育館などを避難施設に活用している。真夏・真冬時は「人の人数、動きも計算に入れて」効率よく冷暖房したいが今はノウハウがない。

→避難施設の広さ、収容人数を考慮し、冷暖房機能を持った設備が何台必要か把握するため、広い空間内での特徴をセンサーを使い基礎データによる分析をする。

第2回 実証実験と同時に結果分析

実証実験イメージ



IoT評価キットを使って
実証実験環境の構築

インターネット

LTE

屋内

温度センサー

エッジGW

屋内に温度センサーを設置し、
クラウド上にセンサー情報を格納する。

センサー
データの
格納

クラウド

データ閲覧・抽出

抽出データを元に
数学的を分析をする。

※クラウドサービス、データ閲覧・抽出機能については、SensorCorpus(センサーコーパス)を利用しています。

※SensorCorpus(センサーコーパス)は、株式会社インフォコーパスが提供するIoTのためのサービスプラットフォームの登録商標名(第5704612号)です。

3. 実証実験結果

一人暮らしの高齢者向け「見守り」センサー

過疎地域の地方自治体は、一人暮らしの高齢者に安心・安全を提供するため、住民にセンサーを配布し、部屋の温度・湿度などを適切に管理したいと思っている。

→センサーを低コストで提供するため、部屋のどこに設置し何個必要かを調べるための基礎データを採取し分析する。

また一人暮らしのため、温度の変化で部屋に人がいる・いないを推測できるかについても分析する。

実証実験結果 → 船倉さん



見えない未来は、
ここで見つける。

あなたの安心のために、あなたの夢見るチカラのために、
あなたの暮らしの土台になりたい。

私たちはまだ見ぬ課題もここで発見し、
ICTをとおして笑顔が生まれる世の中を
創造していきます。

 **Orchestrating** a brighter world

NEC